障害者支援施設オークスヴィレッヂ
令和元年度事業報告

１．　実施事業の概要

２．　各事業の利用状況等報告
　2.1 施設入所支援
　　2.1-1 生活介護
　　2.1-2 在籍者数
　　2.1-3 入退所状況
　　2.1-4 施設入所待機登録状況
　2.2 短期入所者　利用実績報告
　2.3 日中一時支援　利用実績報告
　2.4 相談支援　利用実績報告

３．　利用者の状況報告
　3.1 年齢構成
　3.2 障害支援区分の分布
　3.3 各種手帳の所持状況
　3.4 年金受給状況

４．　各作業班活動報告
　4.1 のびのび班　　4.2 なごみ班
　4.3 スマイル班　　4.4 めぐみ班
　4.5 きらり班　　4.6 つばさ班

５．　給食実施状況報告
　5.1 月別給食業務実施内容
　5.2 お楽しみメニューの実施状況
　5.3 栄養出納帳(年度平均)報告書

６．　健康管理実施状況報告
6.1 月別健康管理業務実施状況
6.2 定期健康診断の状況
6.3 入所者の医療機関通院状況
6.4 入所者の医療機関入院状況

７．　職員研修状況の報告
7.1 法人・施設内研修
7.2 施設外研修
８．　防災の取り組み状況報告
９．　主な催事の報告
10.　見学者・ボランティア等の受け入れ状況の報告
11.　主な環境整備、物品の購入の報告

１．　実施事業の概要

■オークスヴィレッヂの事業

●障害者支援施設の経営(施設入所支援)――第１種社会福祉事業

【定員：50 名】

施設入所支援は、施設に入所するご利用者の夜間帯において、入浴、排泄、食事等の介護その他必要な支援を行う。また、相談、助言等のほか、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活上の支援、機能訓練、健康管理及び療育上の支援を行う。ご利用者の有する能力に応じ、充実した日常生活を営むことができるよう努める。

●障害福祉サービス（生活介護）――第２種社会福祉事業

【定員：50 名】

ＡＤＬの低下や自閉症等に起因する行動障害など、身体・精神面で常時介護を必要とするご利用者に対し、安全で豊かな日常生活を営むことができるよう、個々のご利用者に十分配慮した支援を行う。また、創作活動や生産活動の機会の提供、外出や行事、レクリエーション等の参加など日中活動の充実を図る。

●短期入所 ――第２種社会福祉事業

【定員：9 名】

居宅において、その介護を行なう者の疾病その他の理由により、短期間等の入所を必要とする障害者等につき、短期間等入所させ、入浴、排せつまたは食事の介護その他必要な支援を行なう。

●地域生活支援事業（日中一時支援事業）――公益事業

【定員：若干名】

障害者等の家族の就労支援、および、障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とし、障害者等へ日中における活動の場を提供し、見守り、社会適応訓練等を行なう。

※日中一時支援事業は次の市区町村と契約を締結。

ひたちなか市、水戸市、那珂市、東海村、日立市、常陸大宮市。

●特定相談支援事業所――第２種社会福祉事業

【対象：当施設入所者】

基本相談支援と計画相談支援を行い、支援が必要な障害のある方やご家族が、面談やアセスメントを通して、一人ひとりのニーズや状況に合わせた「サービス等利用計画」を作成します。その後は定期的にサービスの利用状況などを聞き取りし、変更が必要な場合には「サービス等利用計画」の変更・修正を行う。

２． 各事業の利用実績数報告

2.1 施設入所支援(定員 50 名)

利用者　利用実績報告

月	利用者数 障害支援区分 6	5	4	3	各月合計（人）	平均利用数 人/日	利用率（%）
4	772	420	260	29	1481	49.3	98.7%
5	787	429	273	26	1515	48.8	97.7%
6	771	420	265	30	1486	49.5	99.1%
7	772	434	272	31	1509	48.7	97.4%
8	779	427	274	27	1507	48.6	97.2%
9	773	420	229	29	1451	48.3	96.7%
10	801	429	276	31	1537	49.6	99.2%
11	772	416	265	30	1483	49.4	98.9%
12	760	414	271	29	1474	47.5	95.1%
1	776	369	268	26	1439	46.4	92.8%
2	750	397	229	27	1403	48.4	96.8%
3	801	394	274	26	1495	48.2	96.5%
合計	9314	4969	3156	341	17780		

当年度　年間平均利用率：97.2%
前年度　年間平均利用率：97.4%
前々年度　年間平均利用率：97.8%

2.1-1 生活介護(定員 50 名)

利用者　利用実績報告

月	利用者数				各月合計（人）	平均利用数 人/日	利用率（%）
	障害支援区分						
	6	5	4	3			
4	572	308	220	39	1139	51.7	103.4%
5	597	322	230	39	1188	51.6	103.2%
6	571	308	220	37	1136	51.6	103.2%
7	598	322	230	41	1191	51.7	103.4%
8	593	322	242	36	1193	51.8	103.6%
9	572	308	198	37	1115	50.6	101.2%
10	598	322	248	37	1205	52.3	104.6%
11	572	308	236	37	1153	52.4	104.8%
12	575	311	254	37	1177	51.1	102.2%
1	598	281	242	36	1157	50.3	100.6%
2	546	303	205	34	1088	49.4	98.8%
3	598	298	230	23	1149	49.9	99.8%
合計	6990	3713	2755	433	13891		

※生活介護利用上限日数は該当月－8 日

2.1-2

利用者在籍数(入所)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
男性	茨城	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	324
	東京	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	
	千葉	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
女性	茨城	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	276
	東京	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	長崎	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
合計		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	600

2.1-3 入退所状況

入退所者数

入所前の所在	性別	入所者数	退所理由	性別	退所者数
家庭	男	0	家庭復帰	男	0
	女	0		女	0
他施設	男	0	他施設へ移動	男	0
	女	0		女	0
病院	男	0	入院	男	0
	女	0		女	0
その他	男	0	地域社会へ移行	男	0
	女	0		女	0
			その他	男	0
				女	0
合計	男	0	合計	男	0
	女	0		女	0

2.1-4 施設入所利用 待機登録者数

	男性 待機登録者数	女性 待機登録者数
ひたちなか市	10	8
那珂市	1	1
東海村	4	2
常陸太田市	1	0
日立市	6	3
水戸市	1	2
茨城町	1	0
つくば市	0	0
鹿嶋市	1	0
潮来市	1	0
台東区	1	0
合計	27	16
前年度	*28*	*17*
前々年度	*22*	*15*

2.2 短期入所者

短期入所 利用実績報告

月	者	児	合計
4	111	0	111
5	119	0	119
6	104	0	104
7	128	0	128
8	105	0	105
9	113	0	113
10	111	0	111
11	104	0	104
12	104	0	104
1	103	0	103
2	104	0	104
3	63	0	63
合計	1269	0	1269
前年度	*1176*	*0*	*1176*
前々年度	*1877*	*0*	*1877*

2.3 日中一時支援

日中一時支援事業等　利用実績報告

月	ひたちなか市	那珂市	水戸市	日立市	東海村	月別計
4	53	4	0	0	0	57
5	44	4	0	0	0	48
6	54	4	0	0	0	58
7	57	3	0	0	0	60
8	52	4	0	0	0	56
9	50	2	0	0	0	52
10	44	3	0	0	0	47
11	43	2	0	0	0	45
12	35	0	0	0	0	35
1	39	1	0	0	0	40
2	40	2	0	0	0	42
3	2	0	0	0	0	2
合計	513	29	0	0	0	542
前年度	*297*	*41*	*0*	*0*	*11*	*349*
前々年度	*416*	*45*	*0*	*8*	*1*	*470*

2.4 指定特定相談支援事業　利用実績報告

当施設をご利用の利用者の方を主として、本人またはご家族からの依頼を受け、各種福祉サービスが円滑に受けられるよう、サービス等利用計画の作成およびモニタリングを行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
モニタリング件数	0	1	1	0	7	0	0	2	15	2	10	2	40
計画件数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4	7
月別合計	0	1	1	0	7	1	1	2	16	2	10	6	47

3．　利用者の状況報告

3.1 年齢構成

利用者年齢構成表

区分 / 性別	16～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～	合計	最高年齢	最少年齢	平均
男	0	0	0	0	1	8	3	6	2	7	27	73	37	49.7
女	0	0	0	1	0	4	4	3	4	7	23	75	34	54.3
計	0	0	0	1	1	12	7	9	6	14	50			51.8
比率(%)	0%	0%	0%	2%	2%	24%	14%	18%	12%	28%	100%			

3.2 障害支援区分の分布

区分 / 性別	6	5	4	3	2 以下	計
男	18	4	5	0	0	27
女	8	10	4	1	0	23
計	26	14	9	1	0	50
比率	52%	28%	18%	2%	0%	100%

3.3 各種手帳の所持状況

療育手帳の所持状況

区分 / 性別	Ⓐ	A	B	C	計
男	10	12	3	2	27
女	6	12	5	0	23
計	16	24	8	2	50
比率	32%	48%	16%	4%	100%

身体障害者手帳の所持状況

等級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
所持数	0	1		1	2		4

3.4 年金受給状況

	障害者基礎年金		老齢厚生年金	未支給	計
	1 級	2 級			
入所者数	31	16	(1)	3	50

４． 各作業班活動報告

利用者個々のニーズや希望等を把握し作成した個別支援計画に沿って、食事・排泄・入浴等の日常生活支援及び運動・創作活動・余暇活動等の日中活動支援を行いました。生活の充実と生活スキルの維持向上及び身体機能の維持向上に取り組みました。

4.1 のびのび班事業報告

・個々の特性を理解し、利用者様への個別支援を行なう事により、ADL の維持や向上に繋げていきましいた。
・生活していく中で欠かせない清掃や洗濯などに毎日携わることにより、自主性や利用者様同士の良好な人間関係を構築し、より良い住環境作りを目指しました。
・多彩なプログラムを取り入れる事で、日中活動の充実を図り、利用者様の QOL 向上に繋げていきました。

支援要領　［担当職員］石川・根本・仲田

支援事項

・身辺処理支援
手洗い、髭剃り、気温に応じた衣類の調整を毎日行いました。
・洗濯作業・室内清掃
これらを通し、自らの役割に責任を持ち取り組んでいただくと共に、互いを思いやる気持ちを養いました。
・軽運動
毎日のラジオ体操・ウォーキングの他に、活動の中でも軽運動を取り入れ、心身の健康維持に努めました。
・その他
外出や作品作りなどを取り入れ、より充実した生活に繋げられるよう支援しました。

留意点

・個々の特性に応じた支援を行うと共に長所を伸ばせる支援を心掛けました。
・個人の体調・体力・年齢を考慮し、安全に配慮しながら支援を行いました。
・職員間の情報共有を大切にし、利用者に対する理解を深め、より良い支援の向上に努めました。
・緊急時に素早く対応できる心構えを持ち、また責任を持って支援を行いました。

令和元年度　のびのび班　個別支援報告

個人的な情報があるため非公開

個人的な情報があるため非公開

令和元年度　　のびのび班

月別支援報告

月	支援内容
４月 ５月 ６月 ７月 ８月 ９月 １０月 １１月 １２月 １月 ２月 ３月	○年間を通しての作業内容や流れを把握しました。 （主として、洗濯作業、清掃作業、体力作り、作品制作） ≪夏のいこい≫ ○支援方法の検討及び見直しました。 ≪秋祭り≫ ≪さよならパーティー≫ ○１年間の評価及び反省、来年度の課題を検討しました。
備考	・施設の年間行事に合わせて準備、練習なども日中活動の中で取り入れていきました。 ・季節、天候に応じて、活動内容を変更しました。 ・健康面や安全面には十分な配慮をして支援を行っていきました。

令和元年度　　のびのび班

活動日課及び週間日課　支援報告

	AM	PM
月	洗濯干し ラジオ体操・ウォーキング 清掃 身辺処理	洗濯取り込み 仕分け ワークサンプル
火	洗濯干し ラジオ体操・ウォーキング 清掃 身辺処理	洗濯取り込み 仕分け ワークサンプル
水	洗濯干し ラジオ体操・ウォーキング 清掃 身辺処理	洗濯取り込み 仕分け ワークサンプル
木	洗濯干し ラジオ体操・ウォーキング 清掃 身辺処理	洗濯取り込み 仕分け ワークサンプル
金	洗濯干し ラジオ体操・ウォーキング 清掃 身辺処理	洗濯取り込み 仕分け ワークサンプル

※悪天候時の作業内容は、臨機応変に対応しました。
※気分転換や運動不足にならないよう、屋外活動や近隣散策も取り入れました。
※時間内で作業内容を遂行出来るよう計画しました。

令和元年度　のびのび班日課表

時間	日　課
８：３０	洗濯干し
９：３０	ラジオ体操、ウォーキング
１０：３０	お茶休憩、トイレ休憩、身辺処理
１０：５０	館内清掃、作品作り
１１：２０	配膳
１２：００	昼食、休憩
１３：３０	作業開始 洗濯こみ・仕分け作業
１４：３０	入浴準備、ワークサンプル
１５：００	おやつ、トイレ休憩
１５：３０	作業終了

※作品制作や外出など、その時に応じて作業内容を柔軟に変更しました。

4.2 なごみ班事業報告

プログラムの課題報告

・一人ひとりの個性を生かし、個々にあった個別支援を行い、精神安定と ADL・QOL の向上に繋げていきました。
・販売や行事に向けて作品を作成し製品化しました。
・自らが作り上げる事で達成感や喜びを感じられるよう支援しました。
・まくら製作に関しては、確認を念入りに行い、物品の混入、虫の発生を防ぎました。
・作業活動を通して思いやりの気持ちや協調性が持てるよう支援しました。

支援要領 ［ 担当職員 ：関　宇野］

支援事項

・まくら作り(害虫駆除→そば殻干し→ふるい→そば殻入れ→製作→販売)
・定期的に施設内整備、屋外清掃、施設周辺のクリーン活動を行いました。
・身辺処理支援　身だしなみ（ひげ剃り、衣類の調整などの声掛け）
・毎日作業参加シールを貼って頂き、参加意力を高めるようにしました。
・作業開始、終了時のメリハリを付けました。
・時間を守れるようにしました。
・体力作り（ラジオ体操、ウォーキング、軽運動など）を行いました。
・雨天時、レクレーション等を取り入れ精神状態を安定させ、屋内でできる作業を提供しました。
・毎月１回の希望を聴取し外出の機会を作り、気分転換、作業意力の向上に努めました。

留意点

１：一人ひとりの個性に応じた個別支援を行いました。
２：明るい雰囲気の中で作業を行いました。
３：材料や道具を大切に使い、整理整頓・確認の習慣を身につけました。
４：挨拶当番等、積極的に役割を持たせました。
５：精神状態の把握（表情、行動、言動など）をしました。
６：所在の確認、危険物の取り扱いや所持に注意しました。
７：自己中心的にならず、お互い助け合う仲間作りを声掛け支援しました。
８：個人の体調、精神状態、年齢、体力を考え作業内容の確認を定期的に行いました。

令和元年度なごみ班個別支援報告

個人的な情報があるため非公開

作業には、積極的に参加しています。身に付けた作業技術が後退しないよう継続して、体調面に留意し支援しました。また、体力低下防止の為、適度な運動を取り入れました。

なごみ班月別支援報告

月	支　援　内　容
4 月	○同じ作業班としての仲間意識、思いやりを持たせました。
5 月	○一人ひとりに合った作業内容の選択、支援方法の確認をしました。 まくら作業・環境整備・体力作り
6 月	
7 月	<夏のいこい>
8 月	
9 月	<日帰り旅行>
10 月	○作業内容・支援方法の検討及び見直しをしました
11 月	<秋まつり>
12 月	<さよならパーティー>
1 月	
2 月	
3 月	○1 年間の評価・反省を行い、来年度の一人ひとりの作業内容を見直しました。
	※常に人員確認と状況の把握に努める。またハサミの管理、針の本数の確認と事務所への返却を怠らないようしました。 ※まくら倉庫の施錠・使用した電化製品の確認をしました。

令和元年度なごみ班週間支援報告

	AM	PM
月	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理 （髭剃り、手洗い、身だしなみ） 作業	ベットメイキング 作業 片付け・清掃
火	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理 （髭剃り、手洗い、身だしなみ） 作業	ベットメイキング 作業 片付け・清掃
水	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理 （髭剃り、手洗い、身だしなみ） 作業	ベットメイキング 作業 片付け・清掃
木	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理 （髭剃り、手洗い、身だしなみ） 作業	ベットメイキング 作業 片付け・清掃
金	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理 （髭剃り、手洗い、身だしなみ） 作業	ベットメイキング 作業 片付け・清掃

○天候や時間の状況によって柔軟に活動内容を変更しました。
○施設内の環境整備、又は施設周辺のクリーン活動を行いました。
○定期的に運動を取り入れました。

令和元年度　なごみ班日課表

時間	日　課
９：３０	ラジオ体操、ウォーキング
１０：１５	身辺処理 手洗い・消毒 水分補給
１０：３０	作業開始
１１：１０	作業終了
１１：１５	手洗い・消毒
１１：２０	昼食の配膳
１１：４５	昼食・休憩
１３：１５	ベットメイキング
１３：３０	作業開始
１４：００	休憩
１４：１５	作業開始
１４：４５	作業終了　　片付け・掃除
１５：００	手洗い・消毒・検温　おやつ
１５：３０	作業終了・入浴準備

※参加確認、また意欲向上の為、作業始まりに自分でシールを貼って頂きました。
※施設周辺のクリーン活動・施設内の環境整備を行いました。
※気分転換に月１回の外出・傾聴する時間を取り入れました。

4.3 スマイル班事業報告

プログラムの課題報告

・個人の身体能力、特性を考慮してプログラムを作成して、今後の施設生活を
快適に送れるよう QOL の向上を目指しました。
・個別機能訓練プログラムを作成して、適正な機能訓練及び運動を行う事で ADL の向上を目指しました。
・認知症を理解して適切な対応を行えるようにしました。
・笑顔が絶えない、明るく楽しい班活動を行えるようにしました。

支援員　　[担当職員：稲川　堀江]

支援事項

○機能訓練及び体力作り

個別の機能訓練プログラムを作成して、適切な機能訓練、リハビリテーションの実施を支援をしました。

○レクリエーション

レクリエーションを取り入れた活動を行い、楽しく笑顔の絶えない活動を支援をしました。

○外出

外出を企画して心身共にリフレッシュできる機会を設けました。

○認知症

認知症及び認知症の症状がみられる利用者に対して、正しい知識を持ち対応しました。

留意点

1．　看護師と連携して個別の機能訓練プログラムを作成しました。
2．　事故防止に努め安全な活動を実施しました。
3．　適宜に個人プログラムの評価して常に適切な活動を提供できるように努めました。
4．　勉強会を開き、リハビリ、認知症、レクリエーションの知識を身につけました。
5．　職員間では情報の共有をして、共通した支援を行いました。

令和元年度　スマイル班個別支援報告

個人的な情報があるため非公開

個人的な情報があるため非公開

○　等が提
○　訓状症てま
○　をよ
あるので看護師とも連携して健康に活動が継続できるよう心掛けていきました。

令和元年度　スマイル班月別支援報告

月	支　援　内　容
4月	○同じ作業班としての仲間意識を共有しました。 ○ひとり一人に合った作業内容､機能訓練を作成してリハビリテーションやレクリエーションを年間を通して実施しました。
5月	
6月	
7月	《夏の憩い》
8月	○3か月毎に、活動内容を評価して本人にあった活動を提供できるようにしました。
9月	
１０月	○3か月毎に、活動内容を評価して本人にあった活動を提供できるようにしました。
１１月	《秋祭り》
１２月	《さよならパーティー》
1月	○3か月毎に、活動内容を評価して本人にあった活動を提供できるようにしました。
2月	
3月	
備考	・施設の年間予定行事（夏の憩い、秋祭り、さよならパーティ等）にあわせて準備、練習などもとりいれました。 ・施設外支援を積極的に行うことで、地域社会との交流・参加を図りました。

令和元年度　スマイル班週間プログラム

	AM	PM
月	朝の体操・ウォーキング 班での活動 身辺処理	布団敷き 班での活動 入浴準備
火	朝の体操・ウォーキング 班での活動 身辺処理	布団敷き 班での活動 入浴準備
水	朝の体操・ウォーキング 班での活動 身辺処理	布団敷き 班での活動 入浴準備
木	朝の体操・ウォーキング 班での活動 身辺処理	布団敷き 班での活動 入浴準備
金	朝の体操・ウォーキング 班での活動 身辺処理	布団敷き 作業場清掃 入浴準備

※個別のプログラムを作成して、活動を行いました。

令和元年度　スマイル班日課表

時間	日　課
９：００	ラジオ体操、ウォーキング
９：３０	活動開始 （機能訓練、リハビリテーション レクリエーション）
１０：３０	お茶休憩
１０：４５	活動再開
１１：００	身辺処理
１１：２０	嚥下体操
１１：３０	手洗い
１１：４０	昼食、休憩
１３：１５	布団敷き 活動開始 （機能訓練、リハビリテーション レクリエーション）
１４：５０	手洗い
１５：００	おやつ
１５：１５	検温　入浴準備
１６：００	作業終了

※トイレ誘導は個別の排泄パターンを把握して適宜に実施しました。
※活動は、体調を考慮して安全に実施しました。

4.4 めぐみ班事業報告

プログラムの課題報告

・利用者個々の性格や能力を念頭に置き、個別に支援を行うことにより ADL の向上を目指しました。
・個々の能力に合った作業課題を設定して、やりがいと楽しみを持って作業に取り組めるように支援しました。
・農作物を栽培、収穫して販売するという一連の活動を通してものづくりの楽しさを感じてもらえるように支援しました。
・収穫した農作物は販売を目的としたもので、その過程である農作業も仕事であるという意識と責任感を育めるように支援しました。
・屋外での作業により体力と忍耐力を身につけてもらえるように支援しました。
・作業活動を通じて自主性や協調性を育めるように支援しました。

支援要領　［ 担当職員 ］ 神田、和田、片岡、飛田

支援事項

・野菜作り・販売（栽培、収穫、販売等）
・施設内整備、屋外清掃（片付け、除草、清掃作業等）
・身辺処理・身だしなみ（ひげそり、衣類の調節等）
・清潔保持（作業手袋、靴下、タオルの洗濯等）
・安全の確保（適切な用具使用、水分補給、日焼け、虫よけ対策等
・体力作り（ラジオ体操、ウォーキング等）

留意点

１：利用者一人一人の能力や性格に応じた個別支援を行う。
２：明るく楽しい雰囲気の中で作業を行う。
３：材料や道具を大切に扱う。
４：清掃・おやつ当番等、積極的に役割分担を持たせていく。
５：体調、精神状態、作業中の所在の確認。（表情、言動などに気を配る）
６：安全への配慮（適切な道具の使用、危険物の取扱や所持に注意する）
７：自己中心的にならず、お互いに助け合う仲間意識、協調性を育む支援を行う。

令和元年度　めぐみ班個別支援報告

個人的な情報があるため非公開

支援しました。

個人的な情報があるため非公開

月別支援報告（めぐみ班）

月	支　援　内　容
4月	○同じ作業班としての仲間意識を持って貰う。 ○個性にあった作業及び支援方法を模索する。 ○野菜の植え付け。
5月	○年間を通して作業の内容や流れを身につける。 ☆野菜の植え付け、収穫。
6月	☆野菜の植え付け、収穫。
7月	※夏のいこいの準備や練習も追加。
8月	☆野菜の植え付け、収穫。
9月	☆野菜の植え付け、収穫。
10月	☆野菜の植え付け、収穫。
11月	☆野菜の植え付け、収穫。
12月	☆野菜の植え付け、収穫。　※秋祭り準備
1月	☆野菜の植え付け、収穫。 ※さよならパーティの準備や練習
2月	☆野菜の植え付け、収穫。 ○作業内容、支援方法の検討及び見直し
3月	☆冬季は風邪予防（うがい、手洗い、体温、体調の変化、通院） ☆野菜の植え付け、収穫。 ○１年間の反省をし、来年度の改善点と課題を考える。 ☆野菜の植え付け、収穫。
	●屋外作業が主である為、常に人員確認と状況の把握に努める。またカマや包丁・はさみなどの刃物類や除草剤等薬品が多数あるため、使用と管理には十分に注意を払う。(施錠の徹底)

令和元年度　めぐみ班週間支援報告

	AM	PM
月	身辺処理 畑作業 販売用品物作り（野菜）	畑作業 野菜販売 清掃
火	身辺処理 畑作業 販売用品物作り（野菜）	畑作業 野菜販売 清掃
水	身辺処理 畑作業 販売用品物作り（野菜） 市役所販売（販売予定表による）	畑作業 野菜販売 清掃
木	身辺処理 畑作業 納品用品物作り（野菜）	畑作業 野菜販売 こども園野菜納品 清掃
金	清掃 身辺処理 作業場の片づけ	野菜販売 野菜販売代金回収 洗濯（衣類・足袋等） 清掃

○ 直売所での販売は原則毎日行う予定でしたが柔軟に対応しました。（季節に応じて時間は検討する）

○ 天候や気温、状況によって柔軟に活動内容を変更しました。

○ 雨天時は棟内清掃、踏み台昇降などによる体力作りを取り入れました。

令和元年度　めぐみ班日課表

	時間	内容	支援内容
AM	８：４０	申し送り・清掃・身辺処理	
	９：３０	ラジオ体操・ウォーキング	
	１０：００	各作業開始	人員確認
		農耕作業、野菜収穫・販売準備	
		農耕作業、野菜販売	
	１０：２０	手洗い	手洗い支援
	１０：３０	お茶	お茶準備
	１０：４０	作業再開	
		各作業場へ分かれる。	
	１１：２０	手洗い	手洗い支援
	１１：４０	昼食・休憩	
PM			
	１３：３０	作業開始	人員確認
		各作業場へ分かれる	
		畑草取り・石拾い、種まき・収穫等	
		野菜準備・販売	
	１４：４５	手洗い	人員確認
	１５：００	おやつ	
	１５：２０	翌日販売用野菜収穫・準備	各作業場で行う
	１５：３０	片付け・作業場清掃後、入浴	入浴準備等

○天候や気温、状況によって柔軟に活動内容・作業時間を変更する。

○雨天時は棟内清掃、体力作り、レクリエーション等も取り入れていきました。

4.5 きらり班事業報告

プログラムの課題

- ひとりひとりを尊重しながら、活動へのモチベーションの維持・向上を図り、個々の有する能力を活かすことで、QOL の向上を目指した。
- 作業に集中出来るよう適宜構造化を行い、環境を整えた。
- 適度な運動量を確保することにより、ADL の維持・向上を目指した。
- 一定の環境下におけるソーシャル・スキルの向上を目指した。

[担当職員：塙、岩間、大山、磯﨑、川上]

支援事項

○身辺処理支援

手洗い、髭そり、布団敷き、衣類整理・調整を行い、ADL の向上を図った。

○野外清掃、リサイクル作業などを行った。

清掃作業や除草作業を行った。リサイクル作業は、空き缶潰し・選別、プルタブ取り等を行った。

○体力作り

ウォーキング、体操、ストレッチ、踏み台昇降等を取り入れ、体力の増進を図った。場合によっては外出して施設外でのウォーキングも行った。

○室内作業

ワークサンプルでは紙透き作業等の製作活動の他、個人に合わせた活動を取り入れながら実施した。また、室内清掃も行った。

留意点

1. 作業中の怪我や事故のないよう、利用者の行動、利用者同士の関わりや作業環境などの安全に配慮し、責任感を持って支援した。
2. 身体的・精神的な健康状態の変化を把握し、維持・改善に努めた。
3. 発達水準、障害特性や性格などを考慮し、個々に応じた支援を行った。
4. 職員間で情報共有・意見交換を密にし、利用者の多面的な理解に努めることで、理解を深めるとともに、支援スキルの向上とよりよい支援体制の構築に努めた。
5. 健康増進・体力低下の防止に努めた。

令和元年度　きらり班個別支援報告

個人的な情報があるため非公開

個人的な情報があるため非公開

令和元年度　きらり班月別支援報告

月	支　援　内　容
4月 5月 6月 7月 8月 9月 １０月 １１月 １２月 1月 2月 3月	○同じ作業班としての仲間意識を持てるよう支援した。 ○個々に合った作業内容、支援方法の検討。 ○年間を通して個々にあったワークサンプル（手先を使う作業等）を実施した。 ○年間を通して、作業の内容や流れを把握して貰うようにした。 （主として体力作り、清掃作業、除草作業、リサイクル作業、紙透き作業、室内作業、身辺処理） ○年間を通して体力作りに力を入れた。悪天候でも室内で出来る運動を取り入れた。 ○水分補給・衣類調整等熱中症予防に十分留意した。 《夏のいこい》 ○３ヶ月ごとに作業内容、支援方法の検討及び見直しを実施した。 ○前期の検討及び見直しをもとに改良した、作業内容、支援方法で後期の支援を開始した。 《秋祭り》 《さよならパーティ》 ○年間の評価及び反省をし、来年度の課題を考察した。
備考	・施設の年間予定行事（夏の憩い、秋祭り、さよならパーティ等）にあわせて準備、練習なども作業として取り入れた。 ・季節、天候に応じて、活動内容を適宜変更して行った。 ・年間を通して、適度な運動量を確保し、室内作業と外作業をバランスよく取り組めるよう努めた。 ・施設外支援を積極的に行うことで、気分転換したり地域社会との交流・参加を図れるよう努めた。

令和元年度　きらり班週間報告

	AM	PM
月	朝の体操・ウォーキング 男子Dルーム清掃 身辺処理　リサイクル活動	布団敷き・体力作り 室内活動・紙透き作業 交流ホーム清掃
火	朝の体操・ウォーキング 男子Dルーム清掃 身辺処理　リサイクル活動	布団敷き・体力作り 室内活動・紙透き作業
水	朝の体操・ウォーキング 男子Dルーム清掃 身辺処理　リサイクル活動	布団敷き・体力作り 室内活動・紙透き作業
木	朝の体操・ウォーキング 男子Dルーム清掃 身辺処理　リサイクル活動	布団敷き・体力作り 室内活動・交流ホーム清掃 紙透き作業
金	朝の体操・ウォーキング 男子Dルーム清掃 身辺処理　リサイクル活動	布団敷き・体力作り 室内活動・紙透き作業

※季節や天候を考慮した上で臨機応変に対応する事とした。

令和元年度　きらり班日課表

時間	日　課
９：３０	ラジオ体操、ウォーキング
１０：１５	身辺処理・手洗い支援
１０：３０	お茶休憩、トイレ休憩、
１０：５０	男子Ｄルーム清掃もしくはリサイクル作業
１１：３５	手洗い支援
１２：００	昼食、休憩
１３：３０	作業開始　人員確認　衣類調整
１３：４０	紙透き作業、体力づくり
１４：３０	入浴準備、洗濯物片づけ
１４：４５	手洗い支援
１５：００	おやつ、トイレ休憩
１５：１５	検温
１５：３０	作業終了

※体力作りとして、エアロバイクや踏み台昇降、ウォーキング、ボール運動などを行い適度な運動量を確保できるようにした。天候に応じて臨機応変に取り入れて行った。

※職員の職勤務状況に応じて可能な日には、施設外に行き、気分転換を図ったり、ウォーキングを行ったりした。

※室内作業と外作業をバランスよく取り組めるよう努めた。

4.6 つばさ班事業報告

プログラムの課題報告

- 体力・ＡＤＬ低下の予防を目的としました。
- ウォーキングや踏み台昇降、ボール運動など楽しく体を動かしながら体力づくりに努めました。また屋外での生活にも留意して身体機能の低下を防ぎ、健康面に充分留意した支援を行いました。
- 健康面・精神面に配慮し、充実した活動が行えるよう個々に合わせた支援を行いました。

支援要領　［担当職員：島方、寺山、砂押、高安］

支援事項

- 身辺処理支援
  髭剃り、手洗い、排泄、衣類の着脱、ベッドメイキングなど）
- 体力づくり
  （ウォーキング、外出、ボールを使った運動、踏み台昇降・歩行訓練）
- 清掃
  （女子棟Ｄルーム清掃、野外清掃）
- レクレーション
  （リズム運動）
- 音楽
  （リズム運動）

留意点

1　毎日元気に作業活動に取り組める雰囲気をつくりました。
2　季節に応じた身だしなみの確認を行いました。
3　体力や体調を把握し、天候、季節に応じて活動内容を計画、変更しました。
4　個性に合わせた作業の選定と支援を行いました。
5　施設外活動の際、常に安全を考えた行動、支援に留意しました。
6　支援員同士、情報共有に努め利用者に対する深い理解とより良い支援の向上に努めました。
7　転倒等、事故の防止に努めました。
8　出来る限りの運動を取り入れ、体力低下の防止に努めました。

令和元年度　つばさ班個別支援報告

身体機能の低下を防ぎながら自分で出来る事を維持し本人の自主性が付くよう支援しました。体力の現状維持を心がけながら出来る限りの運動を取り入れていきました。尿失禁予防のため、定時のトイレ誘導を行っていきました。

個人的な情報があるため非公開

個人的な情報があるため非公開

月別支援報告（つばさ班）

月	支　援　内　容
4月	○同じ作業班としての仲間意識がもてるよう支援しました。
5月	○個性に合わせたより適切な課題の選定と環境を整えました
6月	○年間を通して作業の内容や流れを身につけました。
7月	☆夏期は特に熱中症に注意し、水分補給を十分に行いました。
8月	
9月	○日帰り旅行
10月	○作業内容、支援方法の検討及び見直しを行いました。
11月	○秋祭り さよならパーティへの準備や練習
12月	☆冬季は風邪予防（手洗い、体温、体調の変化）に注意をし支援を行いました。
1月	
2月	
3月	○１年間の反省をし、来年度の改善点と課題を考えました。
	●常に人員確認と状況の把握に努めました。また外出の際は、特にケガや事故等に注意し、すぐ対応できるよう心がけました。 ●季節や温度にあった活動内容や支援を行いました。 ●施設の年間行事、季節行事等にあわせて準備、練習なども作業として取り入れていきました。

令和元年度　つばさ班週間支援報告

	AM	PM
月	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理、 （髭剃り、手洗い、排泄、身だしなみ、） 女子Dルーム掃除	体力作りの為の運動 レクリエーション
火	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理、 （髭剃り、手洗い、排泄、身だしなみ、） 女子Dルーム掃除	体力作りの為の運動 制作活動
水	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理、 （髭剃り、手洗い、排泄、身だしなみ、） 女子Dルーム掃除	体力作りの為の運動 制作活動
木	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理、 （髭剃り、手洗い、排泄、身だしなみ、） 女子Dルーム掃除	体力作りの為の運動 制作活動
金	ラジオ体操・ウォーキング 身辺処理、 （髭剃り、手洗い、排泄、身だしなみ、） 女子Dルーム掃除	体力作りの為の運動 レクリエーション

○対応職員状況により月に２回以上施設外（笠松運動公園）等に散歩へ出かけ、気分転換を行いました

○天候や時間、状況によって柔軟に活動内容を変更しました。

○季節に応じ、野外清掃を行いました。

令和元年度　つばさ班日課表

	時間	内容	支援内容
AM	９：３０	ラジオ体操、ウォーキング	
		身辺処理	髭剃り
	１０：１５	手洗い	手洗い介助
	１０：３０	お茶	お茶準備
	１０：４０	排泄	トイレ誘導
	１０：５０	女子Ｄルーム清掃	清掃支援
	１１：３０	手洗い	手洗い介助
	１１：４５	昼食	
PM	１３：３０	作業開始 体力作りの為の運動 レクリエーション	人員確認 気温・季節に応じ、 柔軟に対応する。
	１４：４５	手洗い	手洗い介助
	１５：００	おやつ	
		排泄	トイレ誘導
	１５：１５	入浴準備　検温	入浴準備　検温
	１５：３０	作業終了	作業終了

５．　給食実施状況報告

日々、看護師、支援員と連携を図り、利用者それぞれの身体状況に応じた食事を提供し、健康の維持と疾病の重症化予防に努めました。また、利用者の嗜好を大切にしながら、栄養バランスを考慮した献立作りとその提供に努めました。

また、栄養ケアマネジメントを通し、利用者の咀嚼機能や年齢に合った食事形態・食事量を提供し、利用者の健康管理にも努めました。また、栄養面・嗜好・季節等を考慮した食事の提供に努めるとともに、個々人の状況に合わせて食事量の変更、食事形態の見直しを行ってきました。

5-1　月別給食業務実施内容

月	栄養／厨房業務
4	・厨房内大掃除 ・保菌検査 ・荷重平均栄養所要量／食品構成表作成
5	・厨房大掃除 ・保菌検査 ・嗜好調査
6	・栄養状況報告書提出 ・厨房大掃除 ・保菌検査（6 月～ 9 月まで月 2 回実施） ・価格調査、ふき取り検査（専門業者委託） ・害虫駆除（バルサン噴霧による） ・衛生講習会（感染症・食中毒予防）
7	・厨房大掃除 ・保菌検査
8	・厨房内大掃除 ・保菌検査
9	・厨房内大掃除 ・保菌検査
１０	・厨房大掃除 ・保菌検査
１１	・厨房大掃除 ・保菌検査（11 月～3 月ノロウィルス保菌検査） ・価格調査
１２	・厨房大掃除 ・保菌検査
1	・厨房大掃除 ・保菌検査
2	・厨房大掃除 ・保菌検査
3	・厨房大掃除 ・保菌検査

【1】給食に関する方針

1．寛いで食事が出来るような配慮等

・BGMを利用し楽しい食事時間の雰囲気作りに努めた。

2．身体の状況に合わせた調理への配慮等

・エネルギー別献立（主食を大盛り、小盛りで対応）、塩分制限食、カロリー制限食
刻み食、ミキサー食、ペースト食、クローン病食、糖尿病食
その他、疾病による特別食の供給につとめた。

3．適温で給食提供についての配慮等

・配膳時間に合わせて適温提供調理につとめた。

4．身体状況に応じた自助具の活用

・自助具（スプーン、フォーク）
・介助用コップや皿の使用

5．嗜好調査・残食調査等の実施方法

・嗜好調査　アンケート
・残食調査　毎食職員による検査食

6．調査結果についての献立への反映

・好まれるものはなるべく献立に取り入れ、残食の多いものは調理形態を変える等の工夫をする。

7．栄養基準量の算出方法

（ア）　性別・年齢別荷重平均
（イ）　労差別荷重平均
（ウ）　身長・体重・健康診断による個別栄養所要量算出
（身体状況に応じ、大盛り・小盛りで対応）
（エ）　疾病による個別所要量
（オ）　その他
特別食の提供の実施
栄養改善のための個人アセスメントの実施

【2】給食提供の状況

利　用　者				職　員　等		
年間延食数				年間延食数		
	入所者	短期入所	日中一時		職員	ボランティア実習生
朝 食	17,437	996	0	朝 食	1	0
昼 食	17,052	1,039	279	昼 食	5,223	39
夕 食	17,454	999	41	夕 食	355	0
計	51,943	3,034	320	計	5,579	39

【３】特別献立（行事食等）の提供

バラエティーに富んだ食事を提供。

・鍋の日（冬季） 卓上コンロを使用しての食事。

・バイキング各自で選び、おかわり自由。

・お楽しみ食事会いつもと違った食事を楽しむ。

・サタデークッキング第２、第４土曜日に利用者と共におやつのクッキングを楽しむ。

・バーベキュー　5月、6月、７月、8月（夏のひととき）、10月　野外に昼食をかねて炭火鉄板を使ったバーベキューを楽しむ。

【４】疾病を有する方への特別食の提供

・禁忌、アレルギー、食事療法、エネルギー、塩分制限食など疾病に対する特別食

・発熱などの突発的な発病や食欲不振など、おかゆ・うどんなど消化の良いもので対応。

【５】食中毒の発生防止対策

・給水中の残留塩素の測定を毎日励行

・調理品中心温度の測定及び記録

・生野菜等は、ノロウィルス対策として次亜塩素酸で消毒した後、調理加工を行った。

・「オークス・ヴィレッヂ食中毒防止対策要項」に基づき感染症及び食中毒の衛生管理の徹底につとめた。

【６】手作りおやつの実施

・毎週、火曜日・木曜日には「手作りおやつ」に取り組みました。使用している原材料がわかるので添加物もなく、手間はかかりますが出来立てで「おやつ」を提供し、利用者の皆様に大変喜ばれておりました。

・その他には、利用者の方参加型のサタデークッキングを行い、調理の工程を見て、聞いて、経験して、食物を大切にする気持ちを育み、食への楽しみや相互のコミュニケーションをはかることを心掛けた。

5-2　お楽しみメニューの実施報告

月	献立名・行事名	献立内容
4	お花見弁当	ちらし寿司、焼き魚　鶏の唐揚げ、サラダ　デザート
5	春の運動会	野菜カレーライス　デザート
	テーブルマナー	鶏肉のパン粉天火焼き　コンビネーションサラダ　ライス　スープ
	食事会（バーベキュー）	焼肉＆やきそば
6	お楽しみ食事会	ガパオライス　鶏肉の黒酢南蛮あんかけ　コンソメスープ　生パイナップル
	食事会（バーベキュー）	お好み焼き、やきうどん　果物、飲み物
7	創立記念日	お赤飯てんぷら桜えびと葱入り卵焼き椀盛り抹茶そばメロンとさくらんぼの盛り合わせタコライスナスとズッキーニのツナ炒めピーマンと竹輪の金平
	お楽しみ食事会 七夕食事会	わかめともやしのスープグレープフルーツ松花堂弁当そうめん椀
8	お楽しみ食事会	ひじき生姜ごはん鶏と野菜の黒酢あん豚キムチ豆腐胡瓜のナムル トマトと卵のスープ甘酒ブランマンジェ天の川風寒天デザート
	食事会（バーベキュー）	焼肉＆やきそば
9	お楽しみ食事会	ごはん豚肉となすの花椒炒め煮スタミナ鉢すまし汁果物
	夏のいこい	バーベキュー焼肉、やきそば、ピザとうもろこし、すいか水ようかん、ゼリー冷やし漬物、ジュースすいか割り　など
10	お楽しみ食事会	二色丼おでん切り干し大根のはりはり和えみそ汁
	食事会（バーベキュー）	焼肉＆やきそば
11	収穫祭	模擬店
	お楽しみ食事会	ふぅ～ふぅ～スパゲティチキンサラダスープジョア（オレンジ味）
12	鍋の日（2回実施）	おでん鶏だんご鍋
	テーブルマナー	肉料理 照り焼きチキンえびピラフ、ポテトサラダ、ミニピザクラムチャウダー
	クリスマス会	Ｘｍａｓゼリーケーキ、ジュース年越しそば
1	おせちメニュー	おせち料理（箱弁）豚の角煮、りんごきんとん、かまぼこ、ぶり大根
	鍋の日	・おでん・すきやき鍋・鶏だんご鍋
2	節分メニュー	節分そばいなりとだし巻盛り合わせ
	お楽しみ食事会	ごはん白いソースのハンバーグ星形グラッセほうれん草とコーンのバター炒め、3色スープ
	鍋の日	・すきやき鍋 ・おでん
3	ひなまつりメニュー	ちらし寿司里芋の緑あんかけ菜の花のごまあえお吸い物、三色ムース

5-3　令和元年度　栄養出納帳（年度平均）報告書

	食品構成	平均給与量	エネルギー	蛋白質	脂質	微量栄養素						
						Ca	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	Na
	g	Kcal	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
穀類	210	341	1050	26.6	8.9	82	2.4	0	0.24	0.17	0	645
砂糖及び甘味料	5	15	51	0.1	0	1	0.1	0	0	0.01	1	1
油脂類	25	17	143	0.1	15.5	2	0	3	0	0.01	0	61
種実類	5	3	18	0.8	1.7	14	0.2	0	0.02	0.01	0	0
みそ	10	9	17	1.2	0.5	10	0.4	0	0.01	0.01	0	444
大豆製品 その他の豆類	50	62	74	5.7	4.8	85	1.2	0	0.06	0.05	0	12
魚介類	60	64	97	11.4	2.9	22	0.4	16	0.04	0	0	544
獣鳥肉類	60	70	159	11.6	8	5	1	14	0.34	0.12	10	362
卵類	50	32	52	3.8	3.6	18	0.6	48	0.02	0.15	0	42
乳類	200	155	91	4.5	5	155	0.2	47	0.04	0.23	0	78
緑黄色野菜	130	130	34	2.6	0.3	82	2.5	639	0.12	0.17	50	22
淡色野菜	230	240	57	2.9	0.2	72	1	46	0.09	0.09	41	15
果実類	150	81	44	0.6	0.1	7	0.2	9	0.04	0.02	16	2
きのこ類	10	17	0	1.2	0.2	2	0.3	0	0.03	0.08	0	2
藻類	10	9	0	0.6	0.1	68	2.5	15	0.02	0.03	1	493
し好飲料類	100	26	44	0.1	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	25	29	21	1.5	0	7	0.6	6	0.01	0.03	0	1525
年度実績値			2286	77.7	53.8	654	13.9	861	1.16	1.21	133	4,284
目標値			2,200	60.0	60.0	650	8	800	1.00	1.00	100	4,000
比率	穀物エネルギー比 50.3%　脂質エネルギー比 23.2%											
比率目標値	穀物エネルギー比 50%以上 70%未満　脂質エネルギー比 20%以上 25%未満											

６． 健康管理実施状況報告

健康診断を茨城県検診協会に依頼し年2 回実施しました。なお、年度に一度実施しておりました歯科検診については医師の都合により令和2年4月2日に実施予定です。令和元年度の主な感染症の罹患状況については、ノロウイルス罹患者は0人、インフルエンザ罹患者は、職員0名の利用者4名でした。

6.1 月別健康管理業務実施状況

月	病院受診	健康診断	健康状態チェック	その他	嘱託医
4 月	①栗田病院、尚仁会クリニック、大原神経科病院等の定期通院 ②その他の状況により随時通院	定期健康診断	①検温 ②体重測定 （毎月実施） ③血圧、脈拍測定 （要測定者） ④爪、耳垢 （随時チェック）	①投薬の管理 ②施設内処置	嘱託医による健康相談 （５名）
5 月	①②を実施	精密検査 （該当者）	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （４名）
6 月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （４名）
7 月	①②を実施	がん検診 （該当者）	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （4 名）
8 月	①②を実施	がん検診 （該当者）	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （４名）
9 月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （5 名）
10 月	①②を実施	定期健康診断	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （５名）
11 月	①②を実施	精密検査 （該当者）	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （５名）
12 月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （５名）
1 月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （5 名）
2 月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （5 名）
3 月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 （１名）

※歯科協力医による定期歯科検診は令和元年度は令和 2 年 4 月 2 日実施予定

6.2　定期健康診断の状況

期日	実施人数	検査内容	実施状況	検査機関
平成３１年 ４月 25 日(木)	入所者 50 名 短期入所者 ２名 合計 52 名	身体計測（身長・体重） 尿検査（蛋白、糖、潜血） 血圧測定 貧血検査 ⑴赤血球数 ⑵血色素量 ⑶白血球数 ⑷血球容積)、 脂質検査 ⑴中性脂肪 ⑵HDL コレステロール ⑶LDL コレステロール 肝機能検査 ⑴AST(GOT) ⑵ALT(GPT) ⑶γ―GT(γ―GTP) CRE・尿素窒素 HbA1c 心電図検査、 胸部X線間接撮影 視力検査、 聴力検査 HBs 抗原・HCV 抗体 (新規入所者)) 前立腺がん検診 (年１回 対象は 50 歳以上男性）	利用者は聴力、視力実施せず	茨城県 総合検診協会
令和元年 １１月６日(水)	入所者 ５０名 短期入所者 ２名 合計 ５２名			

6.3 入所者の医療機関通院状況

医療機関入通院状況（全利用者：男女合計）		
医療機関名	延通院日数	延入院日数
栗田病院	277	0
大原神経科病院	5	0
水戸クリニック	11	0
日立総合病院付属多賀クリニック	6	0
ひたちなか総合病院	62	38
聖麗メモリアル病院	1	0
聖麗メモリアルひたちなか	11	0
なかの歯科医院	109	0
口腔センター	70	0
尚仁会クリニック	257	0
うどの眼科	35	0
西山堂慶和病院	56	0
水戸赤十字病院	20	34
水戸協同病院	8	0
休日夜間診療所	1	0
さわ西クリニック	2	0
アイビークリニック	5	0
東海眼科	3	0
田中循環器内科クリニック	14	0
加瀬病院	2	0
小浜産婦人科	2	0
勝田病院	2	0
村立東海病院	13	4
曽野内科医院	0	0
茨城東病院	1	0
勝田整形外科医院	0	0
いちげ皮フ科クリニック	1	0
小沢眼科	3	0
マナクリニック	12	0
サンキュー耳鼻科クリニック	23	0
合計	1012	76

医療機関別通院状況（男性）													
医療機関名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
栗田病院	14	15	11	11	17	15	11	17	10	16	12	14	163
大原神経科病院	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	5
日立総合病院付属 多賀クリニック	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
ひたちなか総合病院	4	1	4	9	6	2	2	2	2	1	2	3	38
なかの歯科医院	1	2	5	4	6	2	3	5	3	3	3	0	37
口腔センター	6	2	6	4	2	5	6	4	5	3	4	0	47
尚仁会クリニック	12	9	4	17	7	26	3	21	11	13	5	8	136
うどの眼科	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	4
西山堂慶和病院	1	1	7	5	2	0	3	1	6	1	2	2	31
さわ西クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水戸赤十字病院	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
休日夜間診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
サンキュー耳鼻科	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	2	0	7
東海眼科	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
村立東海病院	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
田中循環器内科 クリニック	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	0	0	12
いちげ皮フ科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
聖麗メモリアル ひたちなか	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5
水戸協同病院	0	0	0	2	1	1	0	1	0	1	0	2	8
勝田病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
月別合計	40	39	42	58	45	57	30	55	43	44	31	31	515

医療機関別通院状況（女性）

医療機関名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
栗田病院	10	10	7	10	11	8	9	12	9	11	7	10	114
水戸クリニック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
田中循環器内科クリニック	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
ひたちなか総合病院	1	0	0	8	2	4	2	2	4	0	0	1	24
聖麗メモリアル病院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
なかの歯科医院	6	8	9	7	5	7	11	3	8	3	4	1	72
口腔センター	2	3	3	2	2	2	1	0	2	0	3	3	23
尚仁会クリニック	13	14	9	14	5	7	6	16	11	7	8	11	121
うどの眼科	10	0	4	0	2	3	1	1	5	1	3	1	31
西山堂慶和病院	2	3	2	1	3	6	3	1	0	0	3	1	25
サンキュー耳鼻科クリニック	2	0	2	0	2	1	3	2	2	0	1	1	16
小浜産科婦人科クリニック	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
茨城東病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
水戸協同病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休日夜間診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村立東海病院	2	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	7
アイビークリニック	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	5
マナクリニック	0	1	1	1	2	0	2	2	0	1	1	1	12
さわ西クリニック	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
聖麗メモリアルひたちなか	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	6
加瀬産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
水戸日赤	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6	5	17
小沢眼科	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
月別合計	50	47	39	46	38	42	39	43	46	30	38	39	497

6.4 入所者の医療機関入院状況

氏名	病院名	診療科	傷病名	入院日数	入院日	退院日
	村立東海病院	個人的な情報があるため非公開		4 日		
	ひたちなか総合病院			5 日		
	水戸赤十字病院			5 日		
	水戸赤十字病院			21 日		
	水戸赤十字病院			2 日		
	ひたちなか総合病院			33 日		
	水戸赤十字病院			6 日		

7．　職員の研修取り組み状況の報告

7.1　法人・施設内研修

No	研修名	開催時期	参加職種	講　師	研　修　内　容
1	成年後見制度について	6/13	保護者 管理職	ひたちなか市 社会福祉協議会 野田悦子氏 目時智美氏	保護者を対象に、成年後見制度についての説明および質疑
2	親の想いを聴く	6/25	支援員 看護師 管理職	保護者 高田初紀氏	「親の想いを聴く」 利用者の生い立ち親の思いに触れ支援者としての礎を築く
3	衛生講習会	7/5	支援員 看護師 厨房職員	ひたちなか市保健所　健康指導課	「感染症について」「麻疹について」「食中毒について」
4	救命入門コース	8/19,20 計２回	支援員 看護師 厨房職員	ひたちなか西消防署員	「応急手当の基礎」「詰まった時、熱中症の対処法」
5	障害の理解について （自閉症・ダウン症・統合失調症）	8/29,30 9/2,3 計４回	支援員 看護師	研修委員	自閉症・ダウン症・統合失調症について学び実践に生かす
6	感染症対策と予防について	12/16,17,18,19,20 計５回	支援員 看護師	看護師、支援員 （感染対策委員）	ノロウィルスの感染経路、予防法、嘔吐時の処理の仕方
7	不適切ケアと虐待防止	2/10,12,13,14,17,21 計６回	支援員 看護師	研修委員	「虐待防止法の理解と対応」 「不適切ケアについてみんなで考える」 「不適切ケアにならないためにはどうしたらよいか」

7.2　施設外研修

No	研修名	開催時期	参加職種	研　修　内　容
1	お茶の水ケアサービス学院 「事故予防と緊急時対応研修」	4/10	管理職１名	「緊急時対応の原則・方法」「観察のポイント」「事故予防のためのポイント」 「事故発生時の対応」
2	茨城県心身障害者福祉協会 【新任職員研修】	4/27	支援員１名	新たに福祉職に就いた人たちの基礎知識アップ研修
3	リスクマネジメント研修	5/8	支援員１名	施設の特性を考えた事故発生のメカニズムを習得したうえでリスクアセスメント方法を学び、有効な対策を考える知識と技術を習得する
4	お茶の水ケアサービス学院 「介護事業者の為のチームワーク 向上研修」	5/17	管理職１名	チームワーク形成　チームワーク向上研修
5	お茶の水ケアサービス学院 「今どきの若手職員を伸ばす たった３つの方法」	5/24	管理職１名	「今どきの若手職員を伸ばすたった３つの方法」
6	茨城県心身障害者福祉協会 【防犯・防災研修】	5/30	支援員１名	講演「東日本大震災を経験して」・施設見学
7	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園　国立リハビリテーション学院 「強度行動障害　指導者養成研修」	6/3～6/7	管理職１名	茨城県心身障碍者福祉協会より　推薦依頼あり 強度行動障害　指導者養成研修
8	強度行動障害支援者養成研修 （基礎研修）	6/6,7	支援員１名	「強度行動障害」を有する者が安定した日常生活を送ることができるよう、障害特性の理解に基づく適切な支援を行う支援者を養成する。
9	一般社団法人　日本経営協会 「初心者のための社会福祉法人会計入門」	6/20,21	管理職１名	社会福祉法人会計入門

No	研修名	開催時期	参加職種	研　修　内　容
10	第 50 回　関東地区知的障害福祉関係職員研究大会～神奈川大会～	7/10,11	管理職 1 名	「新たな時代を拓く～目指すべき共生社会のために～」
11	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	7/16,17	支援員 2 名	「強度行動障害」を有する者が安定した日常生活を送ることができるよう、障害特性の理解に基づく適切な支援を行う支援者を養成する。
12	支援スタッフ委員会 県内施設　視察研修	7/19	支援員 1 名 管理者 2 名	社会福祉法人梅の里　あいの家等の各事業所見学及び意見交換会
13	お茶の水ケアサービス学院 「研修企画講座」	7/26	支援者 1 名	研修のノウハウを学ぶ。「研修担当者の心構えと姿勢」「研修企画の基本」「研修の効果を高める実践的手法」
14	集団給食施設研修会	8/27	調理員 2 名	「衛生管理と食中毒について」「調理用手袋の衛生について」
15	日本経営セミナー 「幹部の意識改革で社員の心に火をつけろ！組織やチームの停滞感・閉塞感はなぜ生まれるのか」	9/5	管理職 1 名	組織の体質を変革するための場つくりとリーダーの育て方、組織変革の概念と考え方を学ぶ。
16	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	9/5,6	支援員 1 名	「強度行動障害」を有する者が安定した日常生活を送ることができるよう、障害特性の理解に基づく適切な支援を行う支援者を養成する。
17	職場マネジメント研修	9/10	支援員 1 名	組織のリーダーとして必要な「マネジメント」を学び、組織の活性化を図る。
18	サービス管理責任者等研修（基礎研修）	9/17 10/29,30	管理職 1 名	サービス管理責任者資格取得研修
19	リスクマネジメント研修 【リスクアセスメントを学ぶ】	9/24	支援員 1 名	施設の特性を考えた事故発生のメカニズムを習得し、リスクアセスメント方法を学び、有効な対策を考える知識と技術を修得する。
20	全国社会福祉法人経営者協議会 「コーチングトレーニング講座」	9/29～ 9/30	管理職 1 名	コーチング技術を学ぶ
21	日本経営セミナー 「労務管理について」	10/1	管理職 1 名	問題職員の対応と労務問題トラブル防止のポイント

No	研修名	開催時期	参加職種	研　修　内　容
22	日本経営セミナー 「初めての施設長育成塾」	10/8,9	管理職１名	施設長として必要なスキルや姿勢を学ぶ
23	全国社会福祉法人経営青年会 「専門講座」	10/24,25	管理職１名	多様で柔軟な組織づくりを改革する
24	茨城県心身障害者福祉協会	10/29,30	管理職１名	サービス管理責任者等研修
25	強度行動障害（自閉症支援） 事例報告会	11/18	管理職１名	強度行動障害への取り組みを具体的に知り、今後の支援方法や施策を考える。
26	中央福祉学院 2019 社会福祉施設施設長資格認定 講習課程第３回集合研修	12/6～ 12/10	管理職１名	施設長認定講習　スクーリング授業
27	社会福祉法人等管理・代表者研修 「コンプライアンス・マネジメント が信頼性の高い組織をつくる」	12/16	管理職１名	コンプライアンスをマネジメントする必要性を理解する。 社会的要請に応え、信頼性の高いガバナンス体制を整備するポイントを学ぶ。
28	茨城県障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者対象）	12/20	管理職１名	「虐待防止の理解・現状と課題」「権利擁護・虐待防止について～ご家族の想いを聴く」「施設・事業所における虐待防止の体制整備について（事例発表）」
29	社会福祉施設等給食担当職員研修	2/12	栄養士１名	「日本料理の基本」「ノロウィルス対策について」「栄養管理について」
30	記録の書き方研修	2/3	支援員２名	記録の目的や意味を理解したうえで書き方を学び、演習を通して自分が書いている記録や支援を振り返る。
31	県北地区７施設研修会	2/6	管理者３名 支援員２名	「働き方改革」の概要と労務管理におけるトラブル防止のポイント 講師：望月社会保険労務士事務所
32	茨城県社会福祉法人経営青年会 セミナー	2/18	支援員３名	「職場力をいかに高めるか」
33	強度行動障害支援者養成研修 （基礎研修）	2/20,21	支援員１名	「強度行動障害」を有する者が安定した日常生活を送ることができるよう、障害特性の理解に基づく適切な支援を行う支援者を養成する。

８．　防災の取り組み状況報告

避難訓練実施状況報告

日付	訓練名	想定とねらい	訓練内容	留意点
4/23	避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 緊急放送をよく聞き指定場所に速やかに避難誘導した。	夜間を想定して夜勤者２名と管理当直１名の体制で避難訓練を実施した。 各職員の役割分担を確認した。	避難場所：グランド 各役割分担を把握し、速やかに行動する。 職員間での声の掛け合いをしっかりと行う。
5/23	避難訓練	昼間想定 出火場所：厨房 消火器具の使用方法の再確認した。 スムーズな避難誘導をした。	火災覚知後、職員の誘導の下、緊急放送の指示に従い、速やかに活動場所から避難場所へ避難し、人員確認を行った。	避難場所：グランド 事務所、支援員、厨房それぞれの役割を再確認し、全員が認識することによってスムーズな誘導を行えるようにする。
6/13	消防総合訓練（消火器具の使用含む）	総合防災訓練として消防署員の立会いの下、夜間を想定して避難訓練を実施した。	通報・消火・避難の一連の流れで行った。 通報訓練・消火訓練・避難訓練を行いひたちなか市消防本部職員の指導を受けた。	避難場所：グランド ひたちなか市消防本部職員の指導の下、消火及び通報の実施訓練を行う。指摘を受けた点については、今後重点的に行う。
7/17	避難訓練	夜間想定 出火場所：洗濯室 緊急放送をよく聞き指定場所に口を押さえ、低い姿勢で安全に避難した。	火災覚知後、職員の誘導の下、緊急放送の指示に従い速やかに各居室から避難場所へ避難し、人員確認を行った。	避難場所：グランド 出火場所を避け、低い姿勢で口を押さえて避難するよう声掛けをする。

月日	訓練名	想定とねらい	訓練内容	留意点
8/16	避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 緊急放送をよく聞き、口を押さえ、低い姿勢で安全に避難した。	夜間３名（夜勤者２名、管理当直１名）体制で実施した。 放送や避難誘導の声かけなどに対する利用者の反応を確認した。	避難場所：グランド 転倒等の二次災害を想定して、安全に避難する事を留意する。
9/24	避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 出火場所を避けるように声掛けや避難誘導を行った。	夜間想定で実施。火災覚知後、女子棟夜勤者による緊急放送の指示に従い、速やかに各居室から避難場所へ避難し人員確認を行った。 出火場所を避けて避難するように声掛け誘導を行った。	避難場所：グランド 訓練終了後に、緊急放送を良く聞くこと、火元を避けて避難するように説明を行う。
10月 (11/12)	避難訓練 ※予備日も雨天の為、11月に振替	昼間想定 出火場所：厨房 職員間で連携して速やかに避難誘導できるように役割分担を確認した。	火災覚知後、非常放送で避難命令が発せられたら、全ての活動を中止し、放送による避難経路に従い安全に落ち着いて避難するよう誘導した。避難をした順に人員確認行った。	避難場所：グランド 各役割分担を把握し、速やかに行動する。 声を大きく出し避難誘導する。
11/25	避難訓練 新採職員の指導	夜間想定 出火場所：厨房 火元を避け避難するよう意識した。 新採職員に避難訓練を指導をした。	避難誘導時、避難場所を指示して、落ち着いて避難するように声掛けを行った。 新採職員に訓練の説明を行った。	避難場所：グランド 段差での転倒等、二次的な災害に注意する。 新採職員に避難訓練の流れと重要性を理解してもらう。

月日	訓練名	想定とねらい	訓練内容	留意点
12/12	避難訓練 新採職員指導	夜間想定 出火場所：厨房 安全に留意して避難の声掛け誘導を行った。 新採職員に避難訓練を実践してもらう。	夜間想定で実施した。 女子夜勤者による緊急放送の指示に従い、落ち着いて避難するように声掛け、誘導する。 避難後は速やかに人員確認を行った。 新採職員に避難訓練の流れを把握してもらった。	避難場所：グランド 出火場所付近を通過して避難しないよう留意する。凍結による転倒にも留意する。 新採職員に避難訓練の流れを把握してもらう。
1/16	避難訓練	夜間想定 出火場所：洗濯室 避難経路で危険個所は無いか確認した。	夜間想定で実施した。 出火想定場所の洗濯室付近を避けてグランドに避難するように声掛け、誘導を行った。 職員の役割分担を確認して、安全に避難誘導できるようにした。	避難場所：交流ホーム 路面凍結や寒さ等、注意する事項が増えるので留意する。
2/19	避難訓練	夜間想定 出火場所：洗濯室 消火器具の使用方法の再確認をした。 落ち着いて安全に避難誘導を行った。	夜間想定で実施した。 緊急放送の操作手順を確認した。 職員間で声を掛け合い、点呼、避難が遅れている利用者の誘導を行った。	避難場所：グランド 非常放送設備の操作手順を確認し、使用方法を周知する。
3/25	避難訓練	昼間想定 出火場所：厨房 職員間の連携を確認して速やかに避難誘導できるようにした。	昼間想定で実施した。 出火確認後、各職員が役割分担を把握して速やかに避難誘導に当たれるようにした。 避難経路に危険な個所がないか確認を行った。	各職員、役割分担をしっかりと把握し、安全、適確に行動できるようにする。

９．主な催事の報告

月 日	内容	支援員役員	保護者の役員	備考
４ 月				
初旬	お花見外出	高安・大山		お花見をしながらおやつを食べる。
4(木)	お花見弁当	厨房職員		
20(土)	親の会総会 ９：３０～	施設長 遠山、高安、大山	保護者参加 41 名	各担当で面談あり。
５ 月				
11(土)	春の運動会	神田・宇野		参加：利用者、父兄、職員
中止	スポーツの集い	（施設）関・和田 （準備）磯﨑・澤畑		
６ 月				
	希望外出	砂押・川上		
	お楽しみ食事会	大髙		
	大掃除	石川・寺山		
７ 月				
	創立記念日	厨房職員		
	お楽しみ食事会	大山（美）		
20(土)	夏のいこい	磯﨑・和田	保護者参加 48 名	参加：利用者、父兄、職員
８ 月				
	お楽しみ食事会	大内		
９ 月				
	お楽しみ食事会	岡田		

月 日	内容	支援員役員	保護者の役員	備考
10 月				
23(水) 28(月)	日帰り旅行	栗原・岩間		福島アクアワールド
中止	四施設合同運動会			
	お楽しみ食事会	佐藤		
11 月				
3(日)	秋まつり	大山・塙・石川	保護者参加 44 名	参加：利用者、父兄、職員
9(土)	ひたちなか市運動会	塙・根本		
	お楽しみ食事会	渡辺		
12 月				
4(水)	さよならパーティ	神田・関・稲川	保護者参加 27 名	参加：利用者、父兄、職員
24(火)	クリスマス会 (施設内)	根本・宇野		
1 月				
	お正月食事	厨房職員		
2 月				
	節分	砂押		
	お楽しみ食事会	岡田		
3 月				
	ひな祭り食事	厨房職員		ひな人形はのびのび班にて設置及び片付けを行う。
	レストランアラカルト	岩間・堀江		1 年の反省を含め、仲間と一緒に楽しい食事をしましょう。

2019 オークス秋まつり

11月3日(日) 10:00～14:30 【小雨決行】

コスパ最高!! 味最高!! 屋台街

カレーライス　けんちんうどん
やきそば　牛串　からあげ
フランクフルト　たこ焼き　お好み焼き
つきたてお餅　大人気!　コロッケ

豪華景品多数! 福引抽選会

Aコース	Bコース
1等 ニンテンドー ゲーム機	1等 自転車
2等 プレイブボード	2等 ティファール フライパンセット
3等 水族館 ペアチケット	3等 温泉施設 温泉回数券
4等 テーブルゲームセット	4等 サザコーヒー ギフトセット
5等 海浜公園 乗り物券	5等 洗剤セット

他にも景品多数!

野菜&果物 特売!!

人気のこども広場

☆チョロQサーキット
☆おもちゃ・射的
☆ゲームコーナー
☆クジ引き など

☆ステージイベント☆

10:00	【主催者挨拶・開会宣言】
10:20	【ダンス発表】オークスヴィレッヂ利用者
10:30	【和太鼓演奏】おーくす船場こども園
10:45	【ダンス発表】おーくす佐野保育園
11:00	【来賓挨拶・ボランティア紹介】
11:10	【コーラス発表】佐野中学校合唱部
11:40	【ダンス発表】おーくす船場学童クラブ
12:00	【ラムネ早飲み大会】 ☆飛び入りOK☆
12:30	【ダンス発表】常磐大学ダンスサークル「Boogie Train」
13:10	【カラオケ大会】飛び入り参加OK!
13:40	【花と緑のオークション】(株)砂押園芸
14:00	【福引抽選】終了後、フィナーレ

花と植木の販売 & 興奮のオークションタイム! 花と緑

大盛況!! バザー

あっ!! 掘り出し物!

社会福祉法人オークス・ウェルフェア
障害者支援施設
オークスヴィレッヂ
ひたちなか市佐和788-13
Tel:029-285-2214

<当日ご協力いただける皆様のご紹介> ※敬称略・50音順

青柳薫光　(福)心の和　(福)幸の実園　佐野中学校　佐和高校　(株)砂押園芸　(福)第二幸の実園　(株)筑波銀行　常磐大学　(福)なるみ園　日産銀光(株)　(福)ハートケアセンターひたちなか　総合商事双葉グループ　フラワークラフトアンティクス　水戸医師会看護専門学院　水戸看護福祉専門学校　水戸証券(株)　水戸信用金庫　(福)やまびこ厚生園　リリーこどもスポーツ専門学校　個人ボランティアの皆様　オークス08　オークスヴィレッヂ保護者会　(福)おーくす佐野保育園　(福)オークス東海　(株)オークスひたちなか　(福)おーくす船場こども園

10. 見学者・ボランティア受け入れ報告

見学者およびボランティアの受け入れについては、広く施設機能の解放をすすめ、施設の透明性を育てる上で極めて有用なものと認識致します。

さらに私たち施設職員は、新しい人々との出会いによって、自らが絶えず試され鍛えられていく貴重な体験の機会であると考えます。

そして、これらの方々は、地域における貴重な人的福祉資源でもあります。施設見学やボランティア活動を通じて、普段日常では関わる機会も少ないであろう、障害者とのふれあいにより垣根が外れ、また、地域に障害者福祉における理解者が輩出されたことと希望する次第です。

1．施設見学者受け入れ状況報告

日時	団体名等	見学目的
5月9日	茨城県保健福祉部福祉指導課 福祉監査室　　【計7名】	・施設内視察 ・質疑
随時受入を行った	日中一時利用目的見学者 短期入所利用目的見学者 施設入所利用目的見学者	

2. ボランティア受け入れ状況

日時	団体名等	ボランティア内容
毎月 第1金曜日	いちょうの会 【約8名】	まくら作業班において、まくらの縫製を手伝っていただいた。
月1回	ふるさと料理教室 （4/10,5/8,6/12,7/10,9/11,10/9,11/13,12/11）	稲田公民館において、料理サークルの活動に参加させてもらった。
秋祭り	砂押園芸5名 筑波銀行6名 常磐大学4名 ひたちなか市社会福祉協議会申込一般4名 水戸医師会看護専門学院2名 リリーこども＆スポーツ専門学校2名 水戸看護福祉専門学校2名 佐和高等学校11名 水戸信用金庫3名 水戸証券3名 日産観光1名 (福)障害者支援施設なるみ園　7名 (福)障害者支援施設幸の実園　4名 (福)障害者支援施設やまびこ厚生園7名 (福)ハートケアセンターひたちなか 3名 (福)心(shin)　13名	祭りの運営の補助 模擬店の出店等のご協力

11. 主な環境整備、物品の購入の報告

日常的な施設設備の点検を継続したことで修繕や背日が必要な箇所を早めに見つけて対応することができました。

利用者の視点では安全で快適な住環境を、職員の視点では安全な労働環境と負担軽減や効率性を重視した物品の見直し整備を行ってまいりました。

また、日頃の清掃や整理整頓に心がけて清潔で整備の行き届いた環境づくりに努めました。

【環境整備】

月	内　容	目的・理由・効果等	費　用
4	ビニールハウスの修繕	めぐみ班の作業活動で使用していたビニールハウスが風により破損しており修繕を行った。	17 万円
7	厨房内床排水溝の修繕	経年により床排水溝に破損が多くみられ、害虫の侵入や虫の発生が懸念された。排水溝の修整をし塗装を施し修繕を行った。	43 万円
7	施設陸屋根防水修繕	医務室内において雨漏りが生じてしまい、施設屋根の防水工事を行った。	61 万円
9	施設内壁修繕・改修	女子支援員室周りの壁において経年により美観を損ねており、簡易な清掃により美観を保てるようパネル貼り付けを行った	17 万円
10	地域交流ホーム便器交換 2 台	頻回に便器の詰まりを繰り返しており、多人数の使用に耐えられるようタンクタイプであった便器から水道直結型の便器へ交換をした。	30 万円
10	食堂洗面台の改修	車いすでも利用できる洗面台に交換し、電気温水器を設置し利用者の方が快適に利用できるよう拐取を行った、また、洗面周りの壁は簡易な清掃により美観を保てるようパネル貼り付けを行った。	83 万円
11	職員駐車場へ外灯設置	夜間における安全、防犯を目的に職員駐車場へ LED 外灯を設置した。	11 万円
2	男子棟利用者居室入口壁の改修工事	男子棟利用者の居室入口の電気スイッチ付近は日常的にさわることが多く、汚れやすいため長期的に衛生的かつ美観を保てるようパネル貼り付けを行った。	33 万円
3	男子棟北側通路	経年により所々舗装がはがれ、また、桜の根が舗装を押し上げ波を打つ状態となっており、利用者の転倒防止するため再舗装工事を行った。また、桜の木は伐採伐根を行った。	59 万円

3	施設内壁修繕・改修	女子棟利用者の居室入口の電気スイッチ付近は日常的にさわることが多く、汚れやすいため長期的に衛生的かつ美観を保てるようパネル貼り付けを行った。	26 万円
3	厨房内　照明・殺菌灯の交換	厨房内の蛍光灯が経年により安定器が不良となり交換を要する為、LED 照明に交換を行った。また、殺菌灯 2 台においても故障しており交換をした。	14 万円

【物品等】※10 万円以上

月	内　容	目的・理由・効果等	費　用
5	ソファーベンチ 4 台	施設内共有スペースに設置してある、ソファーベンチの破損、汚損しているものを交換した。	14 万円
2	厨房内　卓上型業務用冷蔵庫	業務の省力化・効率化の観点から、これまで使用していた調理テーブルのところに、卓上型冷蔵庫を設置し業務の動線が大きく向上した。	23 万円